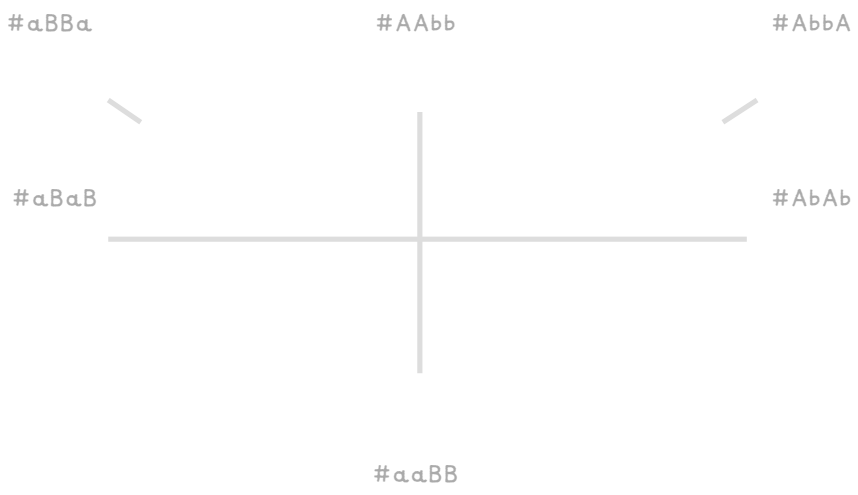

▪山に向かって目を上げる
Gen 22:2 神は言われた、「あなたの子、あなたの愛するひとり子イサクを連れてモリヤの地に行き、わたしが示す山で彼を燔祭としてささげなさい」:4 三日目に、アブラハムは目をあげて、はるかにその場所を見た。:13 この時アブラハムが目をあげて見ると、うしろに、角をやぶに掛けている一頭の雄羊がいた。・・:14 ・・「主の山に備えあり」と言う。
2Ch 3:1 ソロモンはエルサレムのモリアの山に主の宮を建てることを始めた。

▪エジプトから連れ出す過越の日
Exd 12:42 これは彼らをエジプトの国から導き出すために主が寝ずの番をされた夜であった。ゆえにこの夜、すべてのイスラエルの人々は代々、主のために寝ずの番をしなければならない。
▪荒野で導く
Exd 13:21 主は彼らの前に行かれ、昼は雲の柱をもって彼らを導き、夜は火の柱をもって彼らを照し、昼も夜も彼らを進み行かせられた。
▪神の家で守る
Gen 28:12 時に彼は夢をみた。一つのはしごが地の上に立っていて、・・:15 わたしはあなたと共にいて、あなたがどこへ行くにもあなたを守り、あなたをこの地に連れ帰るであろう。わたしは決してあなたを捨てず、あなたに語った事を行うであろう」。:17 そして彼は恐れて言った、「これはなんという恐るべき所だろう。これは神の家である。これは天の

Rev 7:15 それだから彼らは、神の御座の前におり、昼も夜もその聖所で神に仕えているのである。御座にいますかたは、彼らの上に幕屋を張って共に住まわれるであろう。

Rev 7:16 彼らは、もはや飢えることがなく、かわくこともない。太陽も炎暑も、彼らを侵すことはない。